

2016年(平成28年)4月27日(水曜日)

北海道新幹線開業 効果や課題を解説

海星学院高校で
本紙記者が講演



室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、237人)の特別講演会「北海道新幹線と西胆振」が26日、同校で開かれた。北海道新幹線開業に伴う取材を続けてきた室蘭民報社編集局報道部主事の有田太一郎記者(写真)が、開業の西胆振地域への波及効果や課題などを解説した。

全校生徒が聴講した。有田記者は「新幹線の開業効

果が高いのが胆振地域。『近くて遠い』と言われていた東北地方への移動時間が短縮されました」とメリットを述べた。

一方で「2030年(平成42年)末の札幌延伸後、新幹線の沿線から外れる胆振管内は人の素通りが懸念される。官民挙げて人を呼び込む方策が求められます」と今後の課題を指摘した。

講演を聞いた2年生の宮川大希さん(16)は「西胆振の自然や夜景、温泉などの魅力を広くPRし、多くの人に足を運んでもらいたい」と願い、開業したことで「東北を身近に感じられるようになった。牛タンを食べたり、楽天の試合を見に行きたいですね」と話していた。(成田真梨子)